



令和4年度

WWL (ワールド ワイド ラーニング) コンソーシアム構築支援事業
～Snow Crystal Project in HOKKAIDO～
カリキュラム開発拠点校 北海学園札幌高等学校

ニュース リポート 第9号 2022 (令和4) 年9月12日 (月)

8月8日(月)～9日(火)の2日間、北海商科大学・北海学園札幌高等学校の2か所を会場に『GLOBAL SUMMER CAMP 2022』を開催いたしました。SDGs・文理融合・国際理解をテーマとした探究活動を行い、生徒のなかにイノベティブなグローバル人となるための素養を育てることを目的とした、この『GLOBAL SUMMER CAMP 2022』は様々なプログラムの中、外国人留学生との国際交流を積極的に行う機会でもあり、当校生徒の他、北海高等学校・北斗高等学校・市外からは旭川大学高等学校の生徒さんもお参加くださり、情報交換・交流の場ともなりました。

1日目 (8/8(月))

【プログラム1】

オープニングセレモニー

- ①校長先生のお話
- ②リーダー挨拶
- ③留学生紹介
- ④スケジュール等確認

【プログラム2】

SDGs 特別講義 山中康裕教授

【プログラム3】

ワークショップ

- ①学校の空地で自給自足
～SDGs カレー調理～
- ②海外渡航の大学生と考える
SDGs と多文化共生
- ③Planning for the Next stage
(Work-Life balance)

【プログラム4】

SDGs 特別講義
『建設事業に通じた SDGs とは』

【プログラム5】

プログラム2・プログラム4を
ふりかえる

オープニングセレモニー

竹越校長先生・プロジェクトリーダーであるマーク先生から、今回ご参加くださる連携校の皆さん・留学生の皆さん



へ感謝の言葉と共に、このイベントを楽しみましょう！と挨拶がありました。留学生の方からは、時々日本語も含めた自己紹介をくださり、生徒達も楽しく聞きいていた様です。その後、生徒からの開会宣言でスタートとなりました！

山中康裕教授による『SDGs 特別講義』

動画や話題のTikTokを使った自己紹介で生徒達の注目を一気に引き付け、講義を始めた山中教授。ご自身の体験談もふまえて『ジェンダー平等』、ベーシックインカムの考えから『貧困をなくす』、AIのみの社会ではなく、AIを使いこなし『働きがいも経済成長も』等SDGsの17の目標に繋がるお話をご教授いただきました。山中教授が最後に投げかけた『欲しい未来を考える仕組みづくり』を若い世代の生徒達が考え、進んで行動することに期待します。



ワークショップ①

学校の空地で自給自足 ～SDGs カレー調理～

5月から実施している『農業フィールドワーク』で、生徒達が育てた野菜を使い、カレーを作りました。肉・魚等の動物性食品を一切使わずに作る『ヴィーガン料理』。カレーは普段から口にしている、日本の食卓ではなかなか見る事のないヴィーガン調理に生徒達も積極的に挑戦していたようです。



ワークショップ②

海外渡航の大学生と考える SDGs と多文化共生

北海学園大学人文学部 田中洋也教授によるハイブリッドワークショップ。海外渡航の大学生お2人と ZOOM を繋ぎお2人の海外での経験紹介・生徒達との意見交換を行いました。生徒達も他国がもっと身近に感じ、今後の海外生活や留学等を考えるきっかけにもなったのではないのでしょうか？



ワークショップ③

Planning for the Next stage (Work-Life balance)

海外と日本のワークライフバランスを比較し、メリット・デメリット、SDGs に向け自分への課題を話し合いました。留学生から各国の給与や休暇制度等を具体的に学び、『2030年に自分はどうか』をテーマに未来への提言をまとめました。



岩田地崎建設株式会社 上村 英史 様

講義 『建設事業に通じた SDGs とは』

北海道で大手と言われる岩田地崎建設株式会社の上村様をお迎えし、現在建設業界ではどのように SDGs に取り組んでいるのか、また岩田地崎様ならではの面白い活動や地域貢献等お話をいただきました。普段聞く事のない建設業界のお話に、生徒達も興味深く聞き入っていたのが印象的です。最後に北斗高等学校の生徒さんから、『2017年に本校の改築工事を岩田地崎建設株式会社様が請け負ってくださり、素晴らしい校舎が完成。今もなお大切に使っています。』と、感謝の言葉を述べられていました。身近に岩田地崎様が携わった建物がたくさんあると知り、生徒達の建設業界への魅力も感じたのではないのでしょうか？なお、一緒に当企画に関わっていただきました第一営業部長 木村文彦様にも大変お世話になりました。この場を借りてあらためてお礼申し上げます。

1日目のプログラムの締めは、留学生を交えた英語でのグループセッションでした。留学生が中心となり、自己紹介・今日行われた講義の感想や意見、留学生の母国のお話等、全て英語でのセッションとあり普段からの英会話力が試される時間ともなりました。リスニングは得意でも、自分の意見をなかなか英語にして伝えられないもどかしさに生徒達の必死な姿が見られました。GLOBAL SUMMER CAMP2 日目への刺激となり、生徒達の英語への意欲へ繋がるでしょう。



雨天の天気予報に、グラウンドでのプログラムを心配する中で始まった2日目の朝。生徒達も初日の緊張はなく、留学生との会話を楽しむ姿も見られ、和んだ空気の中プログラムがスタートしました。

北星学園大学短期大学部専任講師
マシュー・コッター先生

講義 『持続可能な開発目標と先住民族』

ALL ENGLISH で始まったコッター先生の講義。慣れないスタイルに首を傾げ、メモを取り、必死についていく生徒達が印象的でした。『SDGsの達成のため、先住民族は何かできるのか』『先住民族に対しSDGsの利点・欠点はどんな影響があるか』等テーマにより、グループセッションを行い意見をまとめ発表。留学生の力を借りながら、それぞれ素晴らしい発表が出来たと思います。次のプログラム『オンライン交流』へと繋がる時間にもなりました。



ラグビーに TRY !

心配していたお天気にも恵まれ、N.Z代表トマナワ氏・選手の皆さんと本校グラウンドで活動する事ができました！腰につけた『タグ』を取ったり、取られたりと楽しそうに駆け回る生徒達の姿が見られました。最初は遠慮がちだった生徒達も徐々に声を出し、時には作戦を立てながら積極的にゲームを進めていました。ラグビーはジェンダー平等であり、どんな人でも楽しめるスポーツであるという事を生徒達は肌で感じられたのではないのでしょうか？



2日目 (8/9(火))

【プログラム6】

講義 『持続可能な開発目標と先住民族』

【プログラム7】

先住民族の暮らしを考えるオンライン交流

【プログラム8】

SDGsとSPORTS タグラグビーに TRY

【プログラム9】

クロージングセレモニー

- ①リーダー挨拶
- ②Thank you speech

先住民族の暮らしを考えるオンライン交流

早速、通信障害から始まったオンライン交流。トラブルに見舞われながらもニュージーランドのウエリントンハイスクールの皆さんにご協力いただき、各グループとも活発に意見交換を行っていました。時間が短く、自己紹介や趣味等の話が多かったのですが、英語のディスカッションに生徒も身振り手振りを使って楽しんでいましたよ。

あっという間に2日間のプログラムを終え、生徒達は時間を共にした留学生との別れを惜しんでいました。この2日間で経験した事は、必ず生徒達の力となり、今後の生徒達の成長へとつながるでしょう。無事に終える事ができたのも、皆様のご協力のおかげと心より感謝申し上げます。ご参加くださった講師の方々、連携校、留学生の皆様、本当にありがとうございました。



《GLOBAL SUMMER CAMP 2022 を終え、後日、ご参加くださった北海高等学校の生徒さんからの感想をいただきました。》

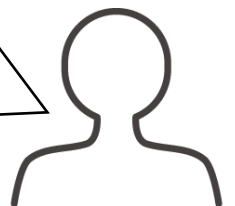


こんにちは。8月8日と9日にサマーキャンプを開催していただきありがとうございます。私は実際に外国の方と交流することで自分が表現出来る英語の実力について確かめることができたり、状況に合わせて英語を選択することができたりしました。また、私のグループは私以外学園札幌の方で初対面でしたが英語と日本語で交流できて楽しかったです。2日間ありがとうございました。

1年 O・Mさん

もともと私は英語がすごく話せるわけではなかったので1日目はあまり雰囲気になれることができず不安でした。2日目はだんだんとまわりとも話せるようになり留学生との会話が楽しくて、もっと英語で話したいという気持ちになっていました。2日間を通して周りがどんどん英語で話しているのを見て自分が話せないことに悔しさを感じました。もっと英語を話せるようになりたいと思えるような良い経験になりました。ありがとうございました。

1年 Y・Tさん



It was a lot of fun!!! It was a valuable experience and I can feel close to English.
Words about SDGs is a lot so very difficult but it became a good training of Listening.
Thank you very much.

1年 A・Hさん



北海高等学校の皆さん、ご参加くださりありがとうございました。他校でのイベント参加に、緊張や不安も多かった事だと思います。そんな中、他校生徒との交流・留学生とのディスカッションで様々な経験を得て、今後の自信へと繋がったのではないのでしょうか。来年も是非ご参加をお待ちしております。